

# 研修内容を自分で選んで参加する

## 「ビュッフェ型校内研修」

### B:校内研修Ⅱ型(課題設定型の研修)

このような教員の姿が生まれました!

- 研修で学んだことを自分なりにアレンジして、授業で活用する姿が増えました。
- 「ICTの活用事例をもっと知りたい。」という声や「この授業のこの場面でICTを活用したいが、よい方法はないか。」というような具体的な相談が増えました。

### ビュッフェ型校内研修

#### 学びたい内容を自分で選んで参加する「ビュッフェ型校内研修」を実施

- ・ 教員によってICT活用能力に差があるため、一律の校内研修は非効率である。また、限られた時間の中でどのようにICT研修を行うかは課題であった。
- ・ 研修主催者は、アンケートを実施し、その結果から強化したい活用場面を5つに分類した。
- ・ 教員は、研修計画表を見て、学びたい内容を各自が選んで校内研修に参加した。

研修内容	アンケート	研修内容	研修内容
1. 授業でICTを活用する場面を5つに分類し、その中で最も活用したい場面を1つ選ぶ。		授業でICTを活用する場面を5つに分類し、その中で最も活用したい場面を1つ選ぶ。	授業でICTを活用する場面を5つに分類し、その中で最も活用したい場面を1つ選ぶ。
2. 「授業でICTを活用する場面を5つに分類し、その中で最も活用したい場面を1つ選ぶ。」というアンケートの結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。		「授業でICTを活用する場面を5つに分類し、その中で最も活用したい場面を1つ選ぶ。」というアンケートの結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。	「授業でICTを活用する場面を5つに分類し、その中で最も活用したい場面を1つ選ぶ。」というアンケートの結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。
3. 最も活用したい場面を5つに分類した結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。		最も活用したい場面を5つに分類した結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。	最も活用したい場面を5つに分類した結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。
4. 最も活用したい場面を5つに分類した結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。		最も活用したい場面を5つに分類した結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。	最も活用したい場面を5つに分類した結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。
5. 最も活用したい場面を5つに分類した結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。		最も活用したい場面を5つに分類した結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。	最も活用したい場面を5つに分類した結果から、最も活用したい場面を5つに分類した。

【研修計画表】



【校内研修の様子】

#### 「ビュッフェ型校内研修」のポイント

- 教員へのアンケートを行いICT活用能力の現状を把握することで必要な研修内容を精選する。
- 研修計画には内容とそのポイントを示し、各教員が自分にとって必要な研修であるか判断できるようにする。
- 研修は機器の使い方ではなく、授業に活用できるアイデアを提供する。

### 研修→実践→次のステップへ



「教科」「活用の仕方」「主な機能」  
を選んで検索できる

【ICT活用事例集】



詳細へジャンプできる

#### 研修→実践へ

- ・ ICTを積極的に活用し、授業実践を行っている。
- ・ 教員同士が、機器の使い方を教え合ったり、効果的なICTの使い方を相談し合ったりして活用を進めている。

#### 実践→次のステップへ

- ・ 実践を積み重ねることで「使ってみる」という段階から「効果的に使う」という段階へ移行している。
- ・ 各教員が「知りたい」「試してみたい」と思える活用事例が提供できるように情報収集に努める。
- ・ 校内外の効果的なICT活用事例をまとめた「ICT活用事例リスト」を作成。教員はそれを閲覧して自分の実践の参考にすることができる。

#### 研修→実践→次のステップへ向かうためのポイント

- 研修主催者は、各教員からの相談に乗ったり授業を参観したりして、ICT活用状況やその課題の把握に努める。
- 「ICT活用事例リスト」は、閲覧したい「教科」「活用の仕方」「主な機能」を選ぶことで簡単に検索ができるようにした。また、後から事例が追加できるようにしてあるため、新しい事例を提供し続けることができる。